

議案— 1

国際港湾協会日本会議 平成 30 年度事業報告

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までに行った事業の概要は、次の通りであった。

1. 2018 年国際港湾協会中間年総会への出席

アゼルバイジャン国バクーで 2018 年（平成 30 年）5 月 8 日～5 月 11 日に開催された国際港湾協会中間年総会へ国際港湾協会日本会議から事務局長が出席した。

2. 第 19 回理事会の開催

第 19 回理事会を、平成 30 年 7 月 11 日に、アジュール竹芝 16 階「藤の間」で開催した。議事内容は以下のとおりである。

- 議題—1 平成 29 年度 事業報告
- 議題—2 平成 29 年度 収支決算及び監査報告
- 議題—3 平成 30 年度 事業計画
- 議題—4 平成 30 年度 収支予算
- 議題—5 国際港湾協会日本会議の役員の改選
- 議題—6 その他

3. 第 20 回理事会の開催

第 20 回理事会を、平成 31 年 2 月 22 日に、国際港湾協会会議室で開催した。議事内容は以下のとおりである。

- 議案— 1 国際港湾協会 Asia, South/West, East and Middle East 選出副会長の推薦について
- 議案— 2 国際港湾協会協力財団と国際港湾協会日本会議の一体的活動の試行について
- 議案— 3 その他

4. 第 17 回総会の開催

第 17 回総会を、平成 30 年 7 月 11 日、アジュール竹芝 12 階「白鳳の間」で開催した。議事内容は、以下のとおりである。

- 議題—1 平成 29 年度 事業報告
- 議題—2 平成 29 年度 収支決算及び監査報告
- 議題—3 平成 30 年度 事業計画
- 議題—4 平成 30 年度 収支予算
- 議題—5 国際港湾協会日本会議の役員の改選
- 議題—6 その他

5. 講演会の開催

総会后、平成 30 年 7 月 11 日、アジュール竹芝 12 階「白鳳の間」で講演会を開催した。講演会内容は、以下のとおりである。

- 講演題目 港湾分野のインフラ輸出に係る最近の動向
講演者 国土交通省港湾局産業港湾課国際企画室長 久田成昭氏

6. 機関誌「IAPH日本フォーラム」の発行

機関誌を、以下の通り発行した。平成 30 年 7 月に第 43 号、平成 30 年 11 月に第 44 号、平成 31 年 3 月に第 45 号計 3 号を発行した。各号の内容は、以下のとおりである。

1) IAPH 日本フォーラム第 43 号

- ① 発行月 平成 30 年 7 月
- ② 掲載内容
 - 巻頭言、国際港湾協会の最近の活動、
 - 表紙提供広島港港湾管理者からの報告
 - 2018 年 IAPH 中間年総会（アゼルバイジャン国バクー）報告
 - 「Ports & Harbors」2017 年 7 月 8 月号、2017 年 9 月 10 月号、2017 年 11 月 12 号から 11 編の翻訳

2) IAPH 日本フォーラム第 44 号

- ① 発行月 平成 30 年 11 月
- ② 掲載内容
 - 巻頭言、国際港湾協会の最近の活動、
 - 平成 30 年度総会報告
 - 表紙提供四日市港港湾管理者からの報告
 - 「Ports & Harbors」2018 年 1 月 2 月号、2018 年 3 月 4 月号から 10 編の翻訳

3) IAPH 日本フォーラム第 45 号

① 発行月 平成 31 年 3 月

② 掲載内容

- 巻頭言、国際港湾協会の最近の活動、
- 表紙提供那覇港港湾管理者からの報告
- 「Ports & Harbors」2018 年 5 月 6 月号、2018 年 7 月 8 月号から 13 編の翻訳

7. IAPH 地域会議の支援

IAPH の新しい定款に基づく第 1 回 IAPH 地域会議が平成 30 年 11 月 26 日神戸で開催された。日本会議は、会議時に使用された印刷物印刷代を負担するとともに、事務局長が会議に参加した。

8. Asia, South/West, East and Middle East 選出副会長の推薦と選挙当選への支援

第 20 回理事会において、副会長選に立候補された篠原正治氏を推薦することを決議し、会員に支援を要請した。圧倒的多数の投票を得て、篠原氏が再選された。

9. 会員募集活動

昨年度に引続き、各方面に国際港湾協会及び国際港湾協会日本会議の役割と活動につき PR した。